

maxell

Bluetooth
ワイヤレスヘッドホン

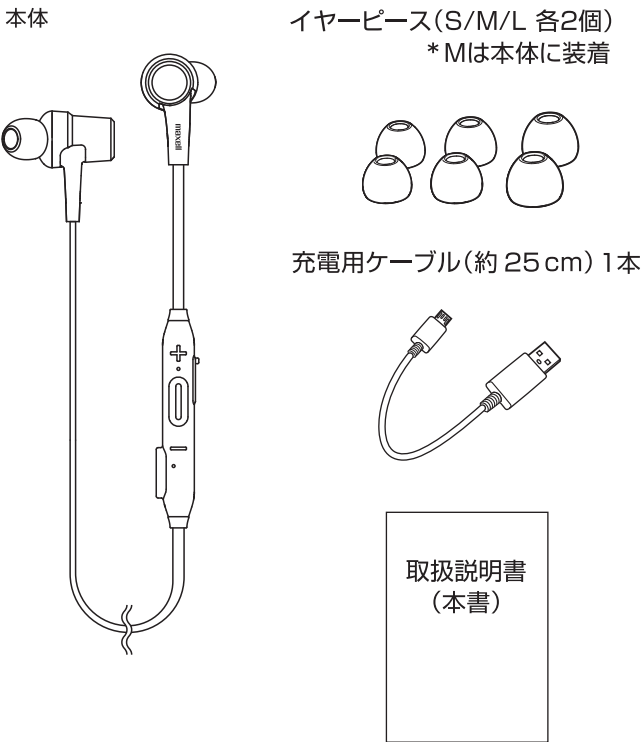
MXH-BTC300

保証書付

取扱説明書

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。
また、本書は保証書も兼ねていますので、大切に保管してください。

梱包品の確認



1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

免責事項（保証内容については保証書面をご参照ください）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、弊社は一切責任を負いません。

2 安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

危険	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度」を示します。
警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定される危害の程度」を示します。
注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷※2を負うことが想定されるか、または物的損害※3の発生が想定される危害・損害の程度」を示します。

※1: 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などを指します。
※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大被害を指します。

絵表示の例	△	△記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	⊘	⊘記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	●	●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

危険

電源はUSBポート以外からとらない	
充電するときはパソコン等のUSBポートまたはUSB変換ACアダプタを使用してください。USBの定格を超えた電源を使用すると、発熱、発火、故障、感電、ケガの原因となります。	⊘
もれた液にさわらない	
本製品内部からもれた液体はさわらないでください。また目に入ったときは、こすらずきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。失明の原因となります。	⊘

警告

「自動車」「自転車」「バイク」など運転中は使用しない	
周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因となります。	⊘
周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない	
歩行中でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車道、工事現場など）での使用は、思わぬ大きな事故の原因となります。	⊘
ワイヤレス機器の使用が禁止されている場所で使用しない	
電波が心臓ペースメーカーや医療用機器に影響を与える場合があります。病院内や鉄道の優先席などワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。	⊘
乳幼児の手の届く所へ置かない	
飲み込んだり、コードが首に絡まったりすると、窒息などの原因となります。万一事故が発生した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。	⊘
直射日光が当たる場所や、異常に温度が高くなるところへ置かない	
機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。	⊘
火の中に入れない	
火中に投下したり、加熱したりしないでください。発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。	⊘
水の中に入れない	
水中で使用しないでください。火災・感電の原因となります。	⊘
修理や改造、または分解しない	
火災、感電、またはけがの原因となります。	⊘
異常時は電源を切る	
煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、水や異物が内部に入った場合、本製品を落下させた場合は、すぐに電源スイッチを切ってください。また、USBより充電中はUSBプラグを抜いてください。そのまま使用すると発熱、発火、故障、感電などの原因となります。	!
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止する	
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。	!

注意

音量を上げすぎない	
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。また、はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を痛めることがあります。使用する前には、接続する機器の音量を絞っておいてください。	⊘
肌に合わないと感じた時は使用を中止する	
継続使用すると、炎症、かぶれの原因となる場合があります。異常を感じた場合は、使用を中止し、医師の診断を受けてください。	!
ヘッドホンを無理に耳に押し込まない	
耳の穴をきずつけることがあります。	⊘
5～40℃の範囲内で充電および使用する	
この範囲外の温度での充電および使用は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因となります。	!
USBプラグにホコリがつかないようにする	
定期的にゴミやホコリを取り除いてください。発熱、発火の原因となります。	!
磁気カードなどに近づけない	
クレジットカードなど磁気の影響を受けやすいものに近づけるとデータ消失などの原因となります。	!

ワイヤレス使用上のご注意

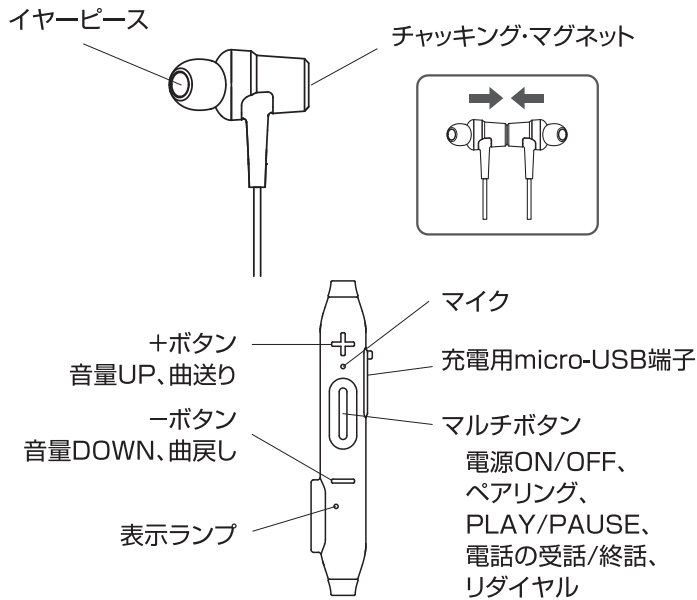
本機は2.4GHzの周波数帯を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社「お客様ご相談センター」までお問い合わせください。
4. 本機は電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けています。したがって、本機の使用について無線局の免許は必要ありません。ただし製品の分解や改造、認証表示を消すことは禁止されています。
5. 病院内や鉄道車内の優先席など携帯電話やワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。

2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

3 各部の名称と機能

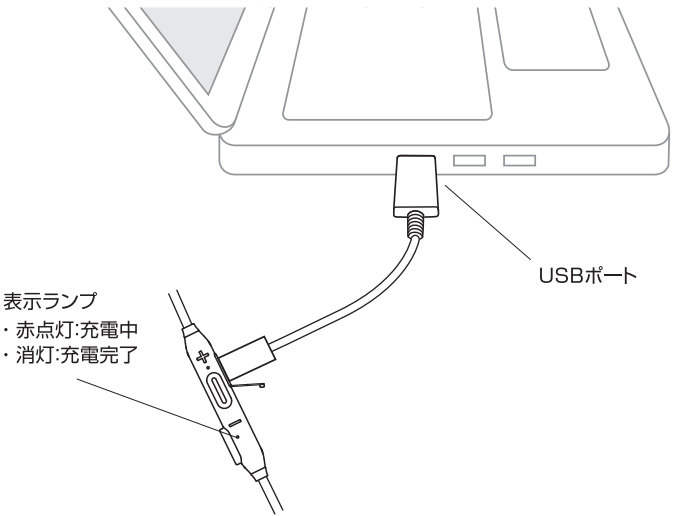


4 準備する

<充電する>

本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。購入後は充電してからご使用ください。

1. 付属の充電用USBケーブルを本体に接続します。
2. 付属のUSBケーブルをお持ちのPCまたはUSB端子付ACアダプタのUSBポートに接続します。
3. 本体の表示ランプが赤色となり充電を開始します。
4. 表示ランプが消えれば充電完了です。（充電時間:約2時間30分）

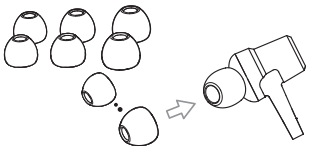


5. 充電用USBケーブルを取り外します。

電池残量が少なくなった場合は、表示ランプが赤色の点滅（約5秒に1回）となります。すぐに充電してください。

※付属のUSBケーブル以外は使用しないでください。
※充電用ケーブルは端子の向きをよく確認してから差し込んでください。間違えると端子が破損するおそれがあります。
※USBポートは、USB規格に基づいた電源DC5Vをご使用ください。
※長期間使用しない場合でも、6カ月に1度は充電をおこなってください。
自己放電により完全放電し、充電できなくなる場合があります。
※リチウムイオン電池は消耗品です。使用期間とともに使用時間は短くなります。
極端に使用時間が短くなった場合は、電池の寿命です。
※充電中は操作できません。

<イヤークリップを選ぶ>



お買い上げ時には、Mサイズのイヤークリップが装着されています。
Mサイズが耳に合わない場合は、付属のSサイズまたはLサイズに交換してください。
イヤークリップが合っていないと耳の穴を隙間なく密閉することができず、音漏れや低音が聴こえない原因となります。また音量が小さいと感じた場合は音漏れの可能性があります。

5 使いかた

<ペアリングして接続する>

本製品を使用するためには、お使いのBluetooth機器とペアリングをする必要があります。一度ペアリングをおこなうと次回からはペアリングをせずに接続することができます。

- 電源がOFFの状態からマルチボタンを約8秒長押しします。
(約3秒で青色と赤色のランプが点灯し電源がONしますが、そのまま長押しを続けてください。)
- ペアリングモードになると表示ランプが赤色と青色交互に点滅します。
- お使いのBluetooth機器のBluetoothを有効にします。
※設定については、機器の取扱説明書をご確認ください。
- お使いのBluetooth機器に表示されるリストから“MXH-BTC300”を選択します。
- ペアリングが完了すると表示ランプが青色にゆっくり点滅します。
(約5秒に1回)

<2回目以降の接続>

- 電源がOFFの状態からマルチボタンを約3秒長押しします。
- 電源がONになると表示ランプが青色に点灯後、赤色ランプがゆっくり点滅します。
- お使いのBluetooth機器のBluetoothを有効にします。
- 自動的に接続します。*1
接続が完了すると、表示ランプが青色にゆっくり点滅します。
(約5秒に1回)

*1：自動的に接続しない場合は、お使いの Bluetooth 機器で表示されるリストから“MXH-BTC300”を選択してください。

ご注意

- ペアリングモードは約2分で終了し、その間にペアリングされないと自動的に電源OFFとなります。
- お使いのBluetooth機器によりパスワード*2 の入力を要求される場合があります。その場合“0000”を入力するとペアリングすることができます。
- 本製品はペアリングをおこなったBluetooth機器を8台まで記憶できます。9台以上ペアリングをおこなうと、最初に記憶されたBluetooth機器の情報が消去され、新たにペアリングをおこなった機器が記憶されます。機器の情報が消去されたBluetooth機器を使う場合は、再度ペアリングをおこなってください。

*2：パスワードは、パスコード、パスキー、PIN コードなどと呼ばれる場合があります。

<各機能の操作方法と動作>

■共通機能

機 能	操 作	表示ランプ
電源 ON	マルチボタンを約3秒長押しします	青色に点灯後、赤色でゆっくり点滅
電源 OFF	マルチボタンを約3秒長押しします	赤色に点灯後、消灯
スタンバイモード	電源を ON にするとスタンバイモードになります	赤色でゆっくり点滅
ペアリングモード	電源 OFF の状態でマルチボタンを約8秒長押しします	青色、赤色交互に点滅
ペアリング完了	お使いの Bluetooth 機器から本製品をペアリングします。 <ペアリングして接続する>をご覧ください。	青色でゆっくり点滅 (約5秒に1回)
接続	ペアリングが完了しているお使いの Bluetooth 機器の Bluetooth が有効になっていると自動的に接続します*3	青色でゆっくり点滅 (約5秒に1回)
接続解除	お使いの機器から本製品の接続を解除します(またはBluetoothを無効にします)	赤色でゆっくり点滅 (約5秒に1回)

*3：自動的に接続しない場合は、お使いの Bluetooth 機器で表示されるリストから“MTC-BTC300”を選択してください。

ご注意

・Bluetooth接続していない状態で約2分経過すると自動的に電源がOFFとなります。

■音楽再生

機 能	操 作
PLAY / PAUSE	マルチボタンを押して、再生と一時停止を切り替えます
音量 UP	+ ボタンを押します
音量 DOWN	－ボタンを押します
曲送り (次の曲に進みます)	+ ボタンを約 1 秒長押しします
曲戻し (再生中の曲の先頭に 戻ります *4)	－ボタンを約 1 秒長押しします

*4：曲の先頭近くで操作すると前の曲に戻ります。

ご注意

・お使いのBluetooth機器によっては操作が異なったり使用できなかったりする場合があります。

■ハンズフリー通話

機 能	操 作
受 話	着信時にマルチボタンを押します
終 話	通話中にマルチボタンを押します
	通話相手が通話を切ります
リダイヤル	マルチボタンを2回連続押しします
音量 UP	+ ボタンを押します
音量 DOWN	－ボタンを押します

ご注意

・お使いのBluetooth機器によっては操作が異なったり使用できなかったりする場合があります。

■マルチポイント機能

2台の携帯電話を同時に待ち受け状態にすると、どちらの電話が受信しても本製品で電話を受けることができる機能です。

<設定方法>

- 1 台目の携帯電話と本製品をペアリングします。
5 使い方 <ペアリングして接続する>を参照
- 1 台目の携帯電話のBluetooth機能をOFFにします。
- 2 台目の携帯電話と本製品をペアリングします。
- 1 台目の携帯電話のBluetooth機能をONにすると2台の携帯電話が同時待ち受け状態となります。

<使い方>

受話：着信時にマルチボタンを押します

終話：通話中にマルチボタンを押します

割込受話：1台目で通話中に2台目が着信した場合、マルチボタンを2回連続押しすると1台目は通話保留となり、2台目の電話を受話します。

割込終話：2台目通話中にマルチボタンを押すと2台目は終話し、1台目の通話に戻ります。

ご注意

・お使いのBluetooth機器によっては操作が異なったり使用できなかったりする場合があります。

6 困ったときは

電源が入らない	・マルチボタンを約3秒長押ししてください。 ・充電してください。
音が出ない	・Bluetooth のペアリング、接続をおこなってください。 ・Bluetooth 機器が A2DP に対応しているか確認してください。 ・Bluetooth 機器が再生しているか確認してください。 ・Bluetooth 機器の音量をゆっくり上げてください。
音がひずむ、とぎれる	・Bluetooth 機器と本機の音量を下げてください。 ・Bluetooth 機器のバーストなどの機能を OFF にしてください。 ・Bluetooth 機器と本機の間障害物を取り除いてください。 ・Bluetooth 機器と本機を近づけてください。 ・無線機や電子レンジなどを離してください。
電話の音声が届かない	・マルチボタンを押して受話してください。 ・Bluetooth 機器が HFP または HSP に対応しているか確認してください。
充電できない	・USB ケーブルを根元まで差し込んでください。

7 仕様

ヘッドホン仕様	型式	密閉ダイナミック型
	使用ユニット	直径12.5 mm
	インピーダンス	16Ω
	音圧感度	96dB/mW
	再生周波数帯域	20 ～ 20,000Hz
	電源	内蔵充電式リチウムイオン電池
	使用時間	連続再生：最大約6時間、連続待受：最大約125時間
	充電時間	約2時間30分
	質量	約15g（コード含む）
	同梱品	イヤークリップ（S/M/L 各2個）*Mは本体に装着 充電用ケーブル（USB A－Micro B 約25cm）1 本 取扱説明書（保証書付）
ワイヤレス仕様	通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver.4.1
	最大通信距離	約10m
	対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
	対応コーデック	SBC
	対応コンテンツ保護	SCMS-T
	マルチポイント	最大 2 台
	マルチペアリング	最大 8 台

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。使用時間およびバッテリー充電時間は当社試験結果に基づく目安です。ご使用環境により異なります。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Maxell Asia, Ltd.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
記載されている名称、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

8 本機を廃棄する

⚠ 注意 日本国内での充電式電池の廃棄について

 機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。
この充電式電池の取り外しはお客様自身ではおこなわず、
当社「お客様ご相談センター」にご相談ください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人 JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

9 保証とアフターサービス

■保証書に関して

保証書は必ずお買い上げ時のレシートと共に大切に保管してください。

■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

マクセル株式会社 〒151-8527 東京都渋谷区元代々木町30-13 http://www.maxell.co.jp	お客様ご相談センター TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル) FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル) マクセルお問い合わせ 検索
--	--